

日本曹達グループの事業と CSR

日本曹達グループの事業

(2019年3月31日現在)

■化学品事業

工業薬品	カセイソーダ、液化塩素、塩酸、カセイカリ、炭酸カリ、青化ソーダ、青化カリ、塩化アルミ、オキシ塩化燐、三塩化燐
化成品	金属ナトリウム、特殊イソシアネート、アルコール、有機チタン、PCB無害化処理薬剤、各種硫黄誘導体、顔色剤
機能材料	NISSO-PB、VPポリマー、チタボンド、ピストレーター
エコケア製品	日曹ハイクロン、日曹メルサン、テイクワン、ハイジオン、ヌメリ取り剤
医薬品・医薬中間体	NISSO HPC、日曹DAMN、ファロベネムナトリウム
工業用殺菌剤	ベストサイド、バイオカット、ミルカット

■農業化学品事業

殺菌剤	トップジンM、ベフラン、ベルケート、ピシロック、トリフミン、パンチョ、アグロケア、マスタピース、ファンタジスタ、エトフィン、ムッシュボルドー、アグリマイシン
殺虫・殺ダニ剤	モスピラン、ニッソラン、ロムダン、コテツ、フェニックス、ベリマーク、グリーンガード
除草剤	ナブ、ホーネスト、エイゲン、コンクルード、アルファード
その他	くん煙剤

■商社事業

化学品、機能製品、合成樹脂、産業機器・装置、建設関連製品

■運輸倉庫事業

倉庫・運送業務

■建設事業

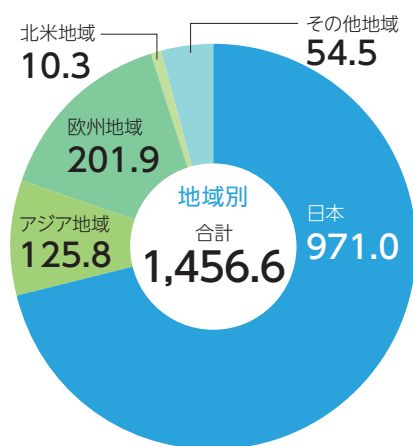
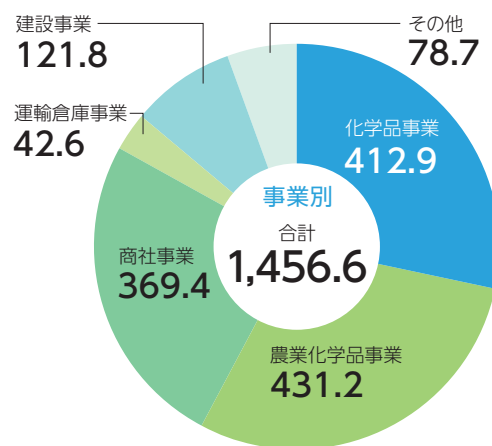
プラント建設、土木建築

■その他

非鉄金属事業、環境開発事業 他

売上高

(2019年度3月期) 単位:億円



会社概要

商号：日本曹達株式会社

本社所在地：〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル TEL 03-3245-6054

創立年月：1920年2月

代表取締役社長 石井 彰

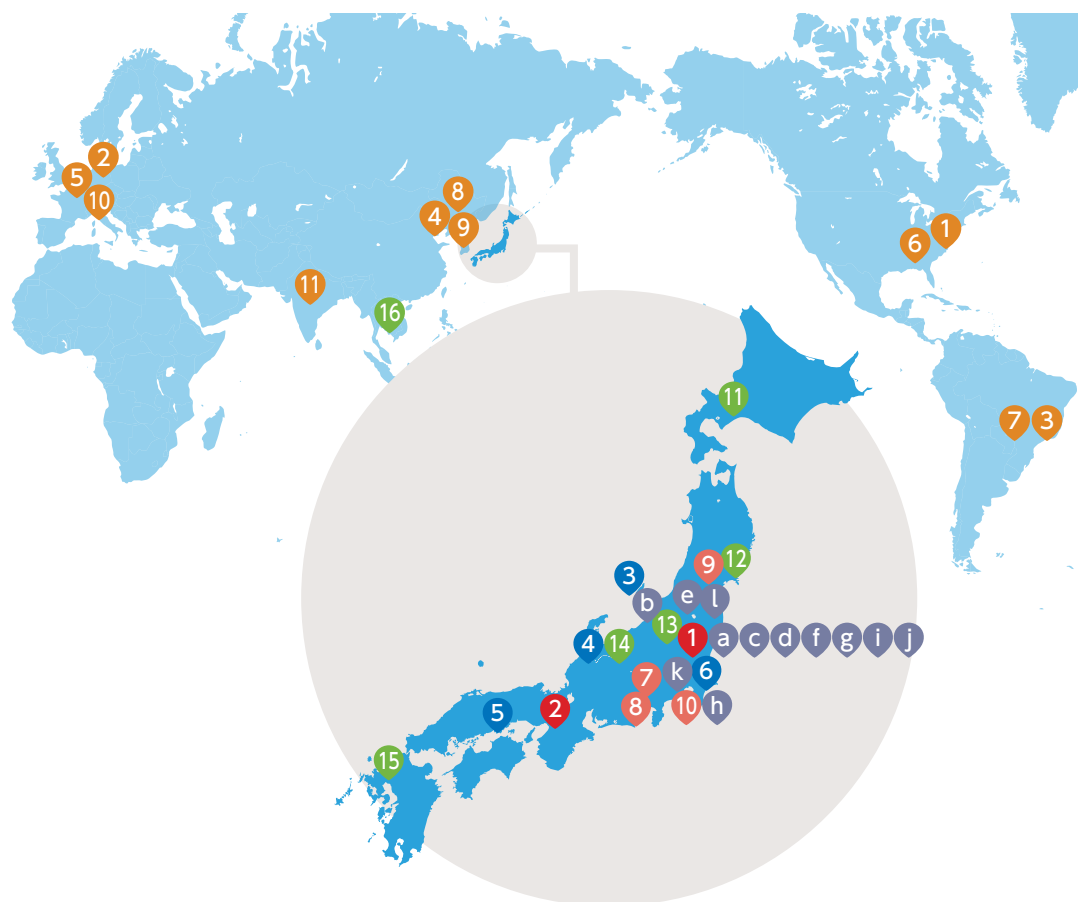
上場証券取引所 東証1部

資本金：29,166百万円(2019年3月31日現在)

従業員数：2,724名(連結 嘱託含む) 1,311名(単体 嘱託含む)(2019年3月31日現在)

事業内容：カセイソーダ、カリ製品、塩素および塩素製品、合成樹脂、染料、医薬品、および中間体、農業用薬品、その他各種化学工業製品の製造、加工、販売

日本曹達グループの概要 (2019年3月31日現在)



事業所

- ① 本社
- ② 大阪支店

工場

- ③ 二本木工場
- ④ 高岡工場
- ⑤ 水島工場
- ⑥ 千葉工場

研究所

- ⑦ 小田原研究所
- ⑧ 榛原フィールド
リサーチセンター
- ⑨ 磐梯フィールド
リサーチステーション
- ⑩ 千葉研究所

営業所

- ⑪ 札幌営業所
- ⑫ 仙台営業所
- ⑬ 関東営業所
- ⑭ 高岡営業所
- ⑮ 福岡営業所
- ⑯ バンコク事務所

国内グループ会社

化学

- a ニッソーファイン株式会社
- b 新富士化成薬株式会社
- c 日曹ビーエーエスエフ・アグロ株式会社
- d 日曹金属化学株式会社
- e 上越日曹ケミカル株式会社
- f 株式会社ニッソーグリーン

物流

- g 三和倉庫株式会社
- h 三倉運輸株式会社

商社

- i 日曹商事株式会社

エンジニアリング

- j 日曹エンジニアリング株式会社

研究開発コンサルティング

- k 株式会社日曹分析センター

土木・建設

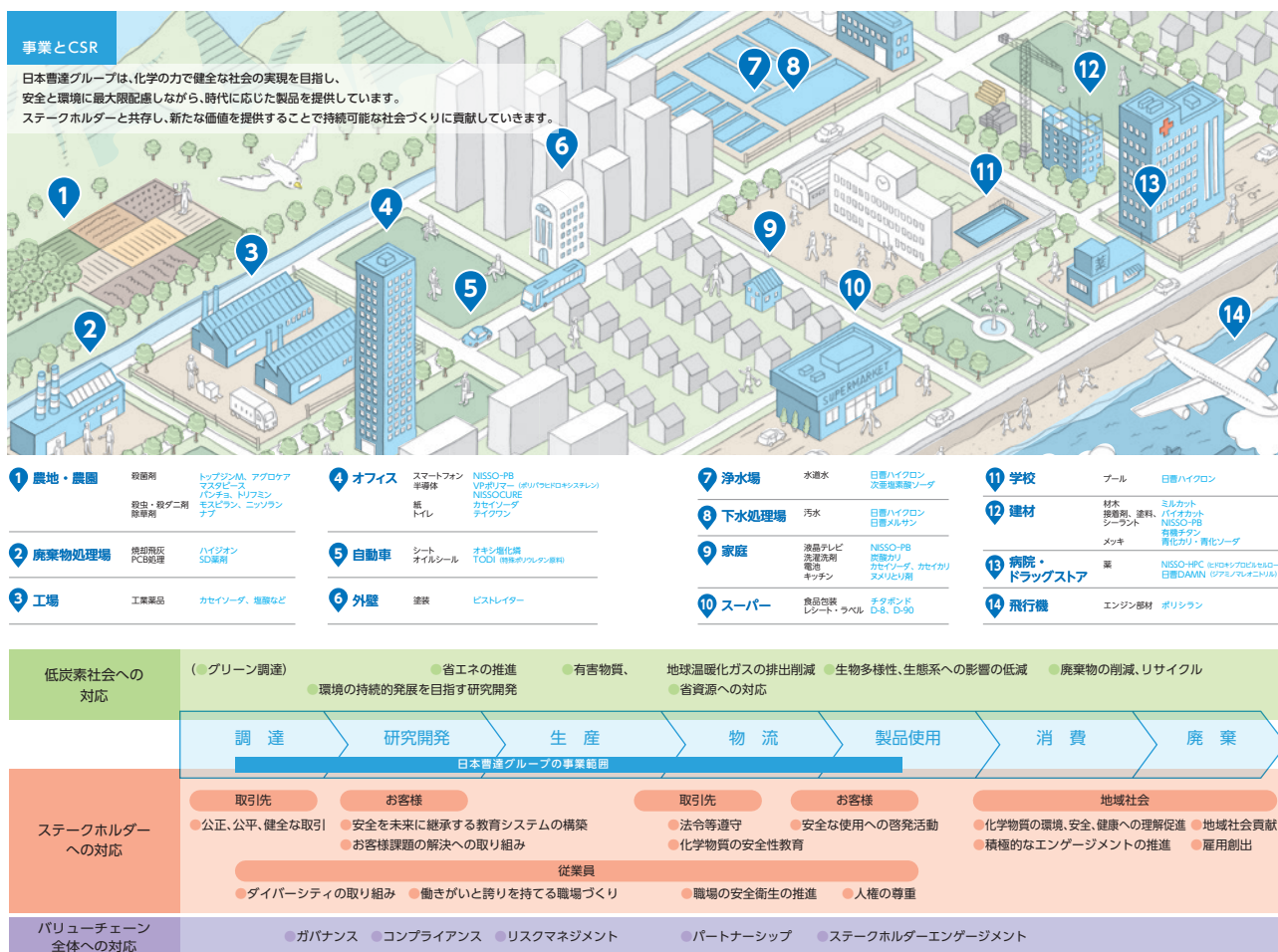
- l 株式会社日曹建設

海外グループ会社

- ① NISSO AMERICA INC.
- ② NISSO CHEMICAL EUROPE GmbH
- ③ NISSO BRASILEIRA REPRESENTAÇÃO LTDA.
- ④ 日曹達貿易(上海)有限公司
- ⑤ Certis Europe B.V.
- ⑥ Novus International, Inc.

- ⑦ Iharabras S/A. Indústrias Químicas
- ⑧ NISSO KOREA CO., LTD.
- ⑨ 日曹南海アグロ株式会社
- ⑩ ALKALINE SAS
(及びグループ子会社4社)
- ⑪ NISSO CHEMICAL INDIA LLP

事業活動とバリューチェーン



中期経営計画(2017年度～2019年度)の概要

日本曹達グループの新たな経営目標として中期経営計画(2017年度～2019年度)を策定しました。長期経営ビジョン「Chemigress to 100」における取り組みの最終ステージとして、これまで進めてきた成長戦略を深化させるとともに、2020年の創立100周年以降のさらなる企業価値の向上に向けて、強固な企業基盤を構築します。

▶ 中期経営計画の基本目標

「事業収益力の向上」と「新規事業の創出」

成長ドライバーを
核とした
既存事業の拡大

新規事業の
創出・開発推進

グループ事業基盤
の強化

CSR経営の深化

▶ 2020年に目指す姿

長期経営ビジョン「Chemigress to 100」

(2011年～2020年)

- 1 農業・医療・環境・情報といった健全な社会の発展に欠かせない事業分野を中心に展開し、有用な新しい製品や事業を継続的かつ安全に提供することで、幅広く社会貢献を行う。
- 2 地球環境とCSRに配慮する化学を中心とした事業グループとして、国際化社会における存在感と必要性を高める。
- 3 チャレンジ精神に溢れ、グローバル競争に勝てる企業集団を形成し、グループ全体の企業価値を総合的に高め、大きく飛躍する。

▶ 創立100周年以降の日本曹達グループの姿

中期経営計画期間における基盤強化により、新たな成長ステージでの飛躍を想定

▶ 中期経営計画の基本目標

経営指標	数値目標(2020年3月期)	2017年3月期(実績)
営業利益率	6.5%以上 (商社事業を除く 営業利益率8.0%以上)	4.2%
経常利益	130億円	99億円
ROE*	7.0%以上	6.6%
投資金額 (3年間)	500億円 (成長投資100億円、 維持更新投資200億円、 M&A等200億円)	

中期経営計画期間

長期経営ビジョン「Chemigress to 100」
最終ステージ

事業収益力
の向上

既存事業の拡大

新規事業の
創出

新規事業の創出・開発推進

グループ事業基盤の強化

創立100周年以降

▶ 新たな成長ステージでの飛躍

農業
化学製品

新規農業を軸とした製品ポートフォリオの刷新・強化による収益性の大幅改善

化学製品

製品構成の高付加価値化が進展

※各部門が収益性・効率性の継続的な改善を図ることでROIC(投下資本利益率)を改善し、当社グループ全体の ROEを向上させる。

CSR経営の深化

「企業価値を高めるCSR」「企業価値を守るCSR」の両立

企業価値を守る CSR

健全で透明な企業経営を行い、社会の発展に貢献

コーポレート・ガバナンスのさらなる強化

▶ すべてのステークホルダーから信頼される企業を実現

社会と環境に配慮した「日曹安全」「日曹品質」の維持・改良へ取り組み

ダイバーシティ、ワークライフバランス、キャリアビジョン・サクセッション(後継者育成)プランを推進

▶ 多様性の受容、働きがいと誇りの持てる職場の実現
▶ 人財価値の向上を図る

継続的な社会責任活動の実施

企業価値を高めるCSR

「農業」「医療」「環境」「情報」を主要ドメインとした
グローバル社会の課題への取り組み

農業

▶ 農業による食糧安全保障
▶ 持続可能な農業への貢献



医療

▶ 医薬による健康をすべての人に届けることへの貢献



環境

▶ 化学による健全な資源循環への貢献(水・廃棄物)



情報

▶ 高機能な材料の提供によるすべての人・環境に優しい情報機器実現への貢献

CSR経営の深化により、社会から求められる化学企業グループとしての健全な発展を推進